

令和3年度文部科学省
「幼稚園の人材確保支援事業」委託事業

幼稚園の人材確保支援事業 調査研究事業報告

令和4年3月

公益財団法人広島県私立幼稚園連盟



《 目 次 》

令和3年度幼稚園の人材確保支援事業 事業報告

I	調査研究テーマ	1
II	調査研究課題	1
III	調査研究の要旨	1
1	本事業の目的	1
2	各調査の研究課題	1
3	全体のまとめ	2
IV	調査研究の目的及び内容並びに達成状況等	2
1	目指す姿	2
2	事業の目的	2
3	目標	2
4	事業内容	2
5	目標に対する達成状況	2
6	各主体の連携促進に係る取組	3
実施事業		
I	発達障害のある園児等への対応支援の実施	5
II	私立幼稚園・認定こども園の魅力発信事業	10
III	無料職業紹介事業の実施	16
IV	令和3年度新採用教員研修会参加者への 人材確保に向けたアンケートの実施	26
	「令和3年度幼稚園の人材確保支援事業」調査・研究実行委員会	27

令和3年度幼稚園の人材確保支援事業 事業報告

I 調査研究テーマ

- ア 離職防止・定着促進
- イ 離職者の再就職促進
- ウ 新規採用の促進

II 調査研究課題

平成29年度から4年間、文部科学省の委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を受け、マッチング体制の構築、幼稚園等の魅力を発信するイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）をはじめとする「新規採用の促進事業」、無料職紹介事業等の「離職者の再就職促進」、幼稚園における働き方改革や園運営の在り方研修会を通じた「離職防止・定着促進」に取り組んできた。

人材確保の成果は、これらの一連の事業を厳選して継続していくことが何よりも重要であり、そのためには、広島県及び広島県教育委員会と連携しながら「人材確保支援」を実施していく必要があると考える。

このため、令和3年度は、これまで実施してきた事業の充実を図るとともに、広島県教育委員会との連携により発達障害等気になる園児への対応を支援することにより、幼稚園教諭の離職防止・定着促進を図る。

これらの取組は、幼稚園等の人材確保に寄与するものであり、さらには、教育・保育の質の向上につながるものである。

III 調査研究の要旨

1 本事業の目的

令和3年度は、新卒者・再就職希望者に対しては、YNナビや無料職業紹介事業を通じて、きめ細かな就職支援を行い、幼稚園等の人材確保に資する。また、発達障害等気になる園児への対応を学ぶことにより、教職員の離職防止・定着促進を図る。

2 各調査の研究課題

(1) 幼稚園教諭の離職防止・定着促進に係る取組

発達障害等気になる園児への対応を研修会及び広島県立特別支援学校と連携した取組により習得し、保育者の離職防止・定着促進に繋げることができるかどうかについて研究した。

(2) 新規採用の促進・離職者の再就職促進

私立幼稚園の魅力発信事業として、オンラインYNナビにおいて、園情報の提供、就職アドバイザーによる支援等を実施し、効果的な方策について研究する。また、無料職業紹介事業における求人・求職システムの改善や就職アドバイザーによる相談事業等を実施し、その効果を研究した。

3 全体のまとめ

年々増加傾向にある気になる園児への対応の習得は、保育者の不安・負担軽減には少なからずつながっているものと考え。今後も引き続き、事業を継続していくことが求められる。新規採用促進・離職者の再就職促進に向けた取組は、それぞれの立場に合ったきめ細かな支援が必要である。コロナ禍で実施できなかった事業を、今後はコロナ禍でも実施できるよう検討し、就職につなげていく必要がある。「わーくけんよう」の登録も順調に増加しており、就職・定着促進につながるよう今後ともきめ細かな支援に努めていく必要がある。

IV 調査研究の目的及び内容並びに達成状況等

1 目指す姿

必要な教職員が幼稚園等で確保され、人材の定着により経験が深まることで、より質の高い教育・保育サービスが提供できている状況になるよう努める。

2 事業の目的

令和3年度は、新卒者・再就職希望者に対しては、YNナビや無料職業紹介事業を通じて、きめ細かな就職支援を行う。（これまでの事業を継続・拡充する。）

また、広島県教育委員会と連携し、発達障害等気になる園児への対応を学ぶ。

これらの事業を実施することにより、新規採用の促進、離職防止、定着促進を図ることを目的とする。

3 目標

- (1) 県内の幼稚園等に勤務する教職員の平均勤続年数を前年度より延伸させる。
- (2) 「わーくけんよう」による求職者の登録数及び紹介件数を前年度より増加させる。
- (3) YNナビの会場において、ブースを訪問しなかった者の数を減少させる。
- (4) 特別支援相談事業への参加について30園を目標とする。

4 事業内容

実施した事業ごとに目的、事業内容、効果、課題、今後の取組をまとめた。

5 目標に対する達成状況

- (1) 県内の幼稚園等に勤務する教職員の平均勤続年数を前年度より延伸させる。
延伸とはなっていないが、現状は維持できている。

平均勤続年数	平均勤続年数
令和2年3月末	7.8年
令和3年3月末	7.9年
令和4年2月末	7.9年

(2) 「わーくけんよう」による求職者の登録数及び紹介件数を前年度より増加させる。

広報の成果等により、「わーくけんよう」が認知されてきている。

年 度	求職者登録数	紹介件数
令和元年度	207	16
令和2年度 (R3年1月末現在)	397	58
令和3年度 (R4年1月末現在)	564	68

(3) YNナビの会場において、ブースを訪問しなかった者の数を減少させる。

未実施

(4) 特別支援相談事業への参加について30園を目標とする。

年 度	実施園	実施回数
令和3年度	30	55

【総括】

目標の達成に向けて、今後も引き続き努力する。

6 各主体の連携促進に係る取組

令和3年度も、広島県、広島県教育委員会と連携しながら事業を展開することができた。

特に、平成29年度に設置された広島県教育委員会の「乳幼児教育支援センター」では、県内すべての乳幼児に対する支援を打ち出されたことから、「私立幼稚園等」と連携強化が図られている。

また、幼児教育相談事業に関しては、これまで築いてきた関係により、県立特別支援学校と連携しながらの事業展開ができた。

今後もしっかりと連携しながら幼稚園の人材確保について支援を行っていきたい。

実 施 事 業

I 発達障害のある園児等への対応支援の実施

1 目的

集団生活に馴染みにくい園児や発達障害等のある園児に対して、保育者は、園児一人ひとりに見られる特性や状態をしっかりと把握したうえで、その園児に合った対応方法を探していくことが求められている。このような園児に対する対応方法を学び、どの保育者でも同じ対応ができるような環境をめざす。保育者個人ではなく、園全体の保育スキルを向上させることが、保育者の離職防止、定着促進につながるものである。

2 事業内容

(1) 発達障害関係研修会の実施

ア 開催概要

令和4年1月29日（土）14時30分～16時30分

ガーデンパレス広島（オンライン開催）

講師：竹内 吉和先生

竹内発達支援コーポレーション代表・広島都市学園大学・岩国短期大学
兼任講師・臨床心理士・公認心理師・特別支援教育士スーパーバイザー

テーマ：発達障害児等気になる園児への支援を学ぶ「保護者の支援と連携」

(研修会の様子)



(2) 県立特別支援学校の専任教育相談主任による支援

広島県教育委員会と連携し、支援を必要とする園に特別支援学校の専任教育相談主任を派遣し、助言を受けた。

3 事業実施状況及び効果

(1) 研修会の状況 (参加者：134人)

- 当初、対面式とオンライン配信を予定し参加者の募集を開始したが、広島県に「まん延防止等重点措置」が発令されたことにより、オンライン配信のみに変更した。
- 今回は、講師の要望により、少人数(2～3人)のグループワークを実施した。
- 園によっては、1台のパソコンで数人が視聴するところもあったため、そういった園では、園内でのグループワークとなった。
- 講師からは対面での実施が望ましいとの意見もあったが、オンラインでも実施の効果は得られたように感じた。
- 参加者のレポートは別紙のとおり

(2) 県立特別支援学校の専任教育相談主任による支援

○ 相談事業の実施状況

別支援学校名	実施状況	幼児教育アドバイザー同行数
広島県立広島特別支援学校	—	
広島県立広島北特別支援学校	3園4日	
広島県立廿日市特別支援学校	4園9日	
広島県立呉特別支援学校	6園7日	1
広島県立呉南特別支援学校	3園7日	
広島県立黒瀬特別支援学校	3園9日	3
広島県立三原特別支援学校	—	
広島県立尾道特別支援学校	1園2日	
広島県立福山北特別支援学校	8園12日	3
広島県立福山特別支援学校	—	
広島県立沼隈特別支援学校	2園5日	
広島県立庄原特別支援学校	—	

専門家による考察

研修会で講師を務めていただいた竹内 吉和先生から当相談事業の取組についてご助言をいただいた。その内容を記載する。

1 特別支援学校幼児教育相談事業について

広島県私立幼稚園等の特別支援教育の質の向上を図るものとして実施した、令和2年及び3年度の本事業の状況について整理し、考察を行ったものを報告する。本事業の成果を踏まえて、本県私立幼稚園等の特別支援教育の充実に向けての取り組みへと発展させたいと考える。

2 相談内容

相談内容は、次のア～カの6つに分類できる。特別支援教育に関わり、各教諭が抱える問題点や悩みが明らかになった。

- ア 小学校との円滑な接続などについての幼児教育の課題などに係る実態を把握し、指導カリキュラムや教材などにどのように生かすか
- イ 他の幼稚園等での好事例の紹介
- ウ 幼稚園等が抱える課題などに対応した支援体制づくり
- エ 児童虐待防止、障害児支援などに係る関係機関（児童相談所、こども療育センター等）との連携・調整及び対応方針等について
- オ 幼児教育に係る情報提供・啓発活動に関すること
- カ 保護者等に対する家庭の教育力の向上に係る啓発について

3 特別支援学校のセンター的機能の活用について

特別支援学校のセンター的機能の活用を踏まえて、特別支援学校の相談主任等に派遣を依頼して、指導・助言等を行う仕組みを構築した。

特別支援学校の相談主任等は、「園のよさを生かす」、「教諭のよい面を伸ばす」、「困っていることに対して具体的なアドバイスをする」、「組織の主体性を大切にする」等を共通理解し、園に寄り添って話を聞くことを大切にするとともに、教諭の変容を認識した上で指導・助言等を行ってきたことから、各園に安心感を生み、教諭が自信を持って業務を行うことや、円滑な園運営につながった。

一方、毎月各幼稚園で助言に基づく研修会等の開催や事例発表や意見交換等を通じて指導・助言等に関する実践を蓄積してきた。

4 相談件数

本事業に関わる2年間の相談件数は次のア及びイである。

ア 令和2年度

- ・令和2年4月～令和3年3月に相談実績がある幼稚園等
幼稚園等31園 99件

イ 令和3年度

- ・令和3年4月～令和4年2月に相談実績がある幼稚園等
幼稚園等30園 55件

5 教諭の変容について

特別支援学校相談主任等の指導・助言等により、教諭の変容につながったという意見が多く報告された。中でも発達障害の理解については、教諭の変容につながったという記述が多くあり、教諭にとって特別な支援や配慮を要する子どもへの関わりに大きな課題があり、相談主任等の指導・助言等を積極的に受け入れたことが推測される。

そして、5歳児が小学校入学時に、小学校生活に円滑に接続できるような取組を行える教諭が増え、特別支援教育についての知識や取組が深まったと言える。

さらに、一人一人の子どもや学級・クラスの状況を把握し、変化を捉えるようになった教諭が増え、自己の実践する教育を振り返り、分析することができるようになったと言える。

子どもの言動の背景にあるものを、より、多角的視点で捉え、分掌や学級・クラスを客観的に評価し、改善できるようになった教諭が増えた。

6 組織の変容について

相談主任等の指導・助言等により、組織の変容につながったという報告もあった。中でも教諭の間で意見交換をする機会が増え、園内のコミュニケーションの活性化が組織の変容につながったことが推測される。さらに、効率的な業務遂行にもつながっている。

これらのことから、相談主任等の指導・助言等は、園運営全体においても、変容につながる実効性の高い取組であると考えられる。

7 保護者の変容について

相談主任等の指導・助言等により、教諭が指導に生かして保護者に具体的な働きかけを行い、結果として保護者の変容につながったという報告もなされている。そして、保護者の子育ての悩みが緩和されたとの声があることから、保護者支援につながっていると考えられる。

また、保護者と教諭の会話やコミュニケーションの機会が増え、子どもにとってよりよい教育環境の提供につながっているものと推測される。

これらのことから、相談主任等の指導・助言等は、保護者の変容においても実効性の高い取組であると考えられる。

8 子どもの変容について

相談主任等の指導・助言等により、教諭が教育に生かすことから、子どもの変容が見られたという報告がなされている。相談主任等から指導・助言等を受けた教諭が、子どもの内面の育ちを見取ることができるようになるなど、子どもへの関わり方が変わることで、結果的に子どもの姿の変容につながっているものと推測される。

9 今後の展開等

この報告では、各園等において、相談主任等から受けた指導・助言等を実施することにより、教諭、保護者、組織、子どもがどのように変容したかについて考察を行った。

その結果、教諭、保護者、組織、子どものいずれにおいても、変容があったと推測される記述が多くあり、ほぼ全ての園から今後も相談主任等を活用したいとの意見もあることを鑑みると、各園の実情に応じた指導・助言等が、幼児教育の質の向上に大きく寄与していることが推察できる。

特別支援学校による幼児教育相談の活用をより充実したものにするために今後も実践研究等を進めていきたいと考える。

※※※※※※※※※※※※※※※※

4 課題

- 研修に関しては、今後、オンラインでの研修を推奨していくのであれば、機器の整備及びネット環境の整備が求められる。
- 今回は、保護者対応に特化した研修となったが、課題はまだ様々あることから引き続き研修会を開催していく必要がある。
- 参加者からも、このテーマでの研修会の継続開催の希望が多かった。
- 相談事業に関しては、研修会で学んだことや広島県立特別支援学校の選任教育相談主任からのアドバイスを実際に園で生かしていただきたいと思う。
- 気になる園児は年々増加する傾向にある。保育者が不安を感じることなく、また、負担に思うことがないように、支援する必要がある。そのためには、今後も事業を継続する必要がある。

5 今後の取組

広島県教育委員会の協力を得ながら、引き続き同事業を実施するとともに、研修会等を開催し、タイムリーかつ必要な情報を提供していくこととする。

II 私立幼稚園・認定こども園の魅力発信事業

1 目的

高校生や養成校で学ぶ学生、幼稚園等で働くことを希望する者等を対象に、幼稚園等の魅力を発信する事業を展開し、新規採用、再就職支援につなげ、幼稚園等の人材確保を支援する。

2 事業内容

(1) 幼稚園・認定こども園ナビゲーションの開催（中止）

高校生や養成校で学ぶ学生、幼稚園等で働くことを希望する者を対象に、幼稚園等の魅力を発信し、幼稚園教諭を目指す学生等が増加することを目的としたイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）をこれまでと同様に、県内2か所（県西部、東部）で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

(2) 「新卒採用求人情報一覧」の配布

YNナビ（対面）実施時に、参加学生に配布を予定していた「新卒採用求人情報」を就職活動の参考にしてもらうため、養成校に配布した。

項目	幼稚園
園名	正徳幼稚園
所在地	〒719-0202 岡山県岡山市東区
電話番号	086-831-1111
FAX番号	086-831-1112
URL	http://www.tadokoro.ac.jp
勤務時間	月曜日～金曜日 8時00分～17時00分の中で選40時間
特記事項	完全週休2日
休暇	有給休暇 初年度10日
給与	<ul style="list-style-type: none"> ※基本給金 <ul style="list-style-type: none"> 短大卒 (a) 月額181,000円 (基本給) 短大卒 (b) 月額191,000円 (基本給) ※固定の手当 (c) <ul style="list-style-type: none"> 調整手当 支給月額8,000円 日当手当 支給月額5,000円 八次昇進手当 支給月額5,000円 ※賞与総額 (a) 又は (b) + (c) <ul style="list-style-type: none"> 短大卒 (a+c) 1年目月額199,240円 3年目月額206,560円 短大卒 (b+c) 1年目月額208,640円 3年目月額215,920円 ※賞与 (d) <ul style="list-style-type: none"> 年3回 約4.2ヶ月分 ※その他の条件により支給される手当 (e) <ul style="list-style-type: none"> (1) 交通費 有り (支給範囲内) (2) 通勤手当 支給月額10,000円 (3) 住宅手当 1ヶ月 11万 2ヶ月支給 (4) 初任給調整手当 支給月額内給の3%以内 (5) 支給条件：卒業後3月に年次支給 ※年間賞給総額 (a) 又は (b) + (c) ~ (e) <ul style="list-style-type: none"> 短大卒 1年目年額1,139,280円 3年目年額1,272,520円 短大卒 1年目年額1,277,680円 3年目年額1,422,640円
その他	賞与：有り (広島県私立幼稚園協会協会の規程に加入) 福利厚生：有り (私立幼稚園協会「年金・健康保険・退職金・介護保険・退職手当・生涯学習など」) 特記事項：園内研修会参加費交通費宿泊費食費、昼食・食料有り、駐車場無料、水泳教室等有り、定期健康診断、給食利用可(有料)、令和2年度より木造新築園舎にて保育、無償一般支給、平均勤続年数13年。

(3) オンラインYNナビの開催

① 開催日時

会場で行うYNナビとは日時が重ならないよう、また、間隔をあけて2回実施。

第1回 7月18日(日) 13時～16時

第2回 9月18日(土) 13時～15時

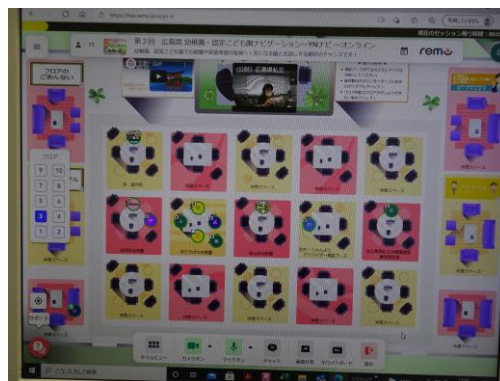
② 具体的な実施内容

i 自園でのブース設置

- ・ 当該養成校出身の教職員による魅力発信
- ・ 学生と現職若手教員との懇談
- ・ 教育実習やボランティア、園見学等についての情報提供 等

ii わーくけんよう相談コーナーの設置

- ・ 就職アドバイザーによる相談を実施。
- ・ 就職内定者に対しても、働くための心構えのアドバイス等を実施する。



(4) 園長による養成校での講演

YNナビの会場だけでなく、園長等が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演等を行った。

1校で1人の幼稚園園長が講演等を行った。

(5) 養成校との意見交換会の開催

○ 令和2年度に引き続き、令和3年度は、広島県学事課、広島県乳幼児教育支援センターと養成校の更なる連携を深め、人材確保及び質の向上に資するため、関係者が一堂に会した採用情報、人材育成等についての意見交換会を行った。

令和3年度もコロナ禍ということで、YNナビ実施前の開催はできなかったが、感染状況が落ち着いてきた10月に西部、東部と2会場に分けて開催した。

○ 案内送付先：県内及び近隣県の養成校27校

(西部会場) 広島ガーデンパレス
 10月27日(水)
 16時~18時
 参加：44人
 養成校 19人
 幼稚園関係者 16人
 行政機関 4人



(東部会場) 福山ニューキャッスルホテル

10月29日(金)

16時~18時

参加: 17人

養成校 6人

幼稚園関係者 9人

行政機関 2人



3 事業実施による成果及び今後の課題等

(1) 幼稚園・認定こども園ナビゲーションの開催

ア 事業実施による成果

○ 当初、

西部会場 令和3年7月 4日(日) 広島県健康福祉センター

東部会場 令和3年7月11日(日) ホテル1・2・3福山

で開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から養成校等へのチラシ発送直前で、東部会場は中止、西部会場は9月5日に延期を決定した。

(同時開催の「保育士ナビ」も同様の理由により延期となっている。)

○ 9月5日に延期を決定し、保育士ナビが実施する広島県産業会館東展示場と同じ西展示場が確保できたことから、

西部会場 令和3年9月 5日(日) 広島県産業会館西展示場

で、再度準備を進めていたが、緊急事態宣言が発令された時点で中止を決定した。

○ コロナ禍で、感染拡大防止のため、2年続けて中止せざるを得なかった。

○ コロナ禍でも開催できる方法として、学生等にオンラインで園の魅力を発信できる方法があるが、養成校がそれを望んでいるのか、学生が参加するのか、見極めが必要なことから、昨年度と同様のアンケート調査を養成校に対して実施した。(別紙のとおり)

○ 「園をじかに知る機会を多く持って、自分の目で確かめる方が良い。」と回答した養成校は全19校で、YNナビは、養成校側にとっては、学生にとって有益な事業であることが確認できた。このため、次年度も実施する方向で検討する。

○ また、「コロナが終息しない状況が続けば、オンラインでもいいので学生が直接話を聞ける機会があれば良い。」と回答した養成校も19校中14校あった。

○ このため、実施方法については、園が会場に一堂に会して実施する従来どおりの方法と、オンラインによる魅力発信の2つの方法で実施することを検討する。

○ 県内の高等学校にも広報を行った結果、高校生の参加もあり、幼児教育を希望する者が進路選択の参考になるよう機会を増やしていくため、引き続き、広島県教育委員会と連携し、事業を進めていきたい。

イ 課題と今後の取組

- やむを得ない状況により中止を判断したが、今後、中止の判断をする際の規程等を早急に制定する必要がある。（令和4年3月制定）
- YNナビは幼稚園の魅力発信には効果的な事業である。
- 開催に向けては、より多くの園の参加を得る必要がある。
令和4年度開催に向けて業者に会場レイアウト等を依頼したところ、コロナ禍でブース間の間隔を広く設定する必要があるとのことで、当初予定していたブース数には至らなかったため、再度会場について検討する必要がある。
- また、より多くの学生に幼稚園の魅力を知ってもらう新たな機会を検討する必要がある。
- 養成校等を通じ広報を徹底し、開催を知らないという者を少なくしていく必要がある。
- 参加した者がより多くのブースを回って、自分の得たい情報が得られるよう、支援する必要がある。
- これまでは、幼稚園側が準備をし、養成校等の学生に参加してもらっていたが、養成校が開催する就職説明会に幼稚園側が出向いてPRすることも考えられるため、そのような機会があれば活用していくことも考えられる。
- 認定こども園が保育士ナビの会場にもブースを出展していることなどから、保育士ナビと同じ会場での合同開催は効果的であると考え。今後は、広島県と協議し、日程等を検討する必要がある。

- 令和4年度の予定
 - 【YNナビ西部会場】
 - ・ 日 程：令和4年6月26日（日）
 - ・ 会 場：広島県健康福祉センター他
(保育士ナビに併せて開催する。)
 - 【YNナビ東部会場】
 - ・ 日 程：令和4年7月3日（日）
 - ・ 会 場：福山ニューキャッスルホテル
 - 【オンラインYNナビ】
 - ・ 日 程：令和4年8月20日（土）
 - ・ 継続して実施する。

(2) オンライン幼稚園・認定こども園ナビゲーション（オンラインYNナビ）の開催

ア 事業実施による成果

- 実施状況

月 日	参加園	参加者数
7月18日	40園	養成校17校117人 高校生0人
9月18日	35園	養成校10校30人 高校生3人

- 事業報告
別紙報告書のとおり

イ 課題及び今後の取組

- 初めての試みで、実績のある業者に委託しての実施となった。
- 参加園には、業者から当日の実施方法等を個別に説明してもらい、大きなトラブルもなく実施することができた。ただ、園のネット環境が良好でないところは、回線がつながらなくなることもあった。今後は、オンラインが日常化することも予想されることから、各園でのネット環境の整備は急務と考える。
- 学生への周知は、養成校を通じて実施した。参加には事前登録が必要であり、対面式ほど参加者が増えなかった。
- 参加者増を図るため、9月にはインスタグラムを立ち上げたが、もっと早い時期からの取組をする必要があった。
- 養成校の中には、授業の一環として取り組んでいただいたところもあり、1校から多数の学生参加があった。このため、授業の一環として取り組んでもらえるよう他の養成校にも働きかける必要がある。
- 広島県教育委員会を通じて、県内の公立高校にもチラシを配布したところ、学校から聞いて参加したという高校生があった。今後の進路に役立ててもらえる良い機会となった。

(3) 園長による養成校での講演

ア 事業実施による成果及び今後の課題等

- YNナビの会場だけでなく、養成校からの希望に応じ、園長が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演を行っているが、コロナ禍の影響を受け、希望校が少なかった。
- 1校は、ズームによる講演を行っており、幼稚園の魅力発信する場としては、様々な手段で実施できることを養成校に働きかけるとともに、要請があれば園長等を派遣することとする。

(4) 広島県乳幼児教育支援センター等と連携した養成校との意見交換会の開催

ア 事業実施による成果

(ア) 開催状況

会場	開催日時	開催場所	参加者		
			養成校	行政	幼稚園関係者
広島	令和3年10月27日 (水)	広島ガーデンパレス	14校	2機関	16人
			19人	4人	
福山	令和3年10月29日 (金)	福山ニューキャッスルホテル	6校 6人	1機関 1人	9人

※ 養成校 19校（広島県15校、岡山県3校、山口県1校）

- 昨年度に引き続き、広島県、広島県乳幼児教育支援センターと連携した意見交換会を実施した。
- 意見交換会は、年度当初に開催を予定していたが、コロナ禍ということで開催を見送っていた。しかし、学生の実習や採用試験を控え、養成校の先生方の生の声を聞く必要があると判断し、2会場に分散し、ソーシャルディスタンスを保ちつつ開催した。
- 2会場に分けたことにより、時間的余裕ができ、一つ一つのテーマにしっかりと時間を取ることができた。また、発言も多くあり、有意義な意見交換となった。
- 特に2年続けて、コロナ禍で養成校はオンライン授業が中心となり、準備のないまま、教育実習や採用試験等の時期となっており、このような状況下でも教育実習を受け入れていただいた園に大変感謝されていた。

(イ) 意見交換の主なテーマ（広島・福山会場とも共通）

- 1 実習及び実習巡回の状況について
- 2 意見交換（実習の状況、就職活動について 等）
- 3 採用試験について
- 4 幼稚園教諭になった後のキャリアアップについて
- 5 実習等について
- 6 奨学金の返済等について

イ 課題と今後の取組

- 今回も2会場に分散したため、しっかりと意見交換ができたことは良かった。
- 意見交換会の実施の仕方を工夫し、幼稚園の魅力をより一層発信できるよう検討していきたい。
- 養成校との意見交換は幼稚園の魅力を先生方に発信する場としては必要であると考え
る。
意見交換会の実施の仕方を工夫し、幼稚園の魅力をより一層発信できるよう検討していきたい。

Ⅲ 無料職業紹介事業の実施

1 目的

幼稚園等の人材確保に向けて、広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所（わーくけんよう）において、就職アドバイザーを設置し、きめ細かな相談業務等を実施することにより、幼稚園・認定こども園の人材確保に資する。

また、現在運用中である求人・求職システムの機能を強化するとともに、業務の効率化を図る観点からシステム改善を行い、登録者に対するサービス向上を図る。

2 事業内容

(1) マッチング支援及びシステムの改善

ア 求人・求職システムを活用したマッチング及びシステムの改善

- 求人・求職システムを活用し、マッチングを行った。
- システムについては、次の改善を行った。
 - ① 依頼先 株式会社レイフロンティアデザイン
(求人・求職システム [わーくけんようサイト] の製作者)
 - ② システムの改善
 - トップページに最新の求人情報 (20 件) と地域別の件数の表示機能を設けた。



わーくけんようからのお知らせ

- 学生向けのページ
 - ・ 就活ハンドブックの差し替えを行った。
 - ・ YN ナビ掲載ページの今年度バージョンに更新した。

幼稚園での仕事に興味をお持ちの 学生のみなさんへ

幼稚園の仕事探し
会員登録

登録無料

マイページ
ログイン

再就職支援

復職相談は
お気軽に！

🔍 お仕事を探す
ログインしてお仕事を探す

🔍 人材を探す
ログインして人材を探す



幼稚園での仕事に興味をお持ちの学生のみなさん！
各幼稚園ではオープンキンダーガーデンや職場見学など、
様々なイベントを行っています。
参加して実態に見て幼稚園の仕事にふれてみませんか？

HAND BOOK 学生の皆様向けの就活HAND BOOKを作成しました。
是非ご利用ください。

幼稚園・認定こども園ナビゲーション

広島県内の幼稚園・認定こども園を知ってもらうイベントを行っています！
教育実習先や、就職先についての園の先生方のお話が聞けます。
また、再就職についての相談コーナーもあります。

**幼稚園・認定こども園ナビゲーション
～NYナビ～**

詳細はこちらをご覧ください

各地区の採用情報

○ 管理者ページの修正

- ・ 求人の受付年月日、見出し／メモの表示の追加

※ 園が複数の求人を掲載する頻度が増えたため、どの求人に誰が応募したのかをわかりやすく表示するために機能を追加した。

CSVダウンロード 求職管理簿データ編集

← 1 2 3 →

登録されているデータ：53件

求職者 会員番号・氏名	求人事業所	求人の 受付年月日	見出し／メモ	採用年月日	無期雇用・有期 雇用	離職状況6ヶ月内 又は不明（調査 日・方法）	備考
MA00000000411 中山紀香	東海田幼稚園	2021-04-27 16:22:26	令和3年度正規 募集				
MA00000000497 吉村詩津香	緑光幼稚園	2021-04-18 13:26:33	求人情報2022				
MA00000000023 テスト用アカウ ント（求職者）	テスト用アカウ ント（幼稚園）	2020-01-09 19:16:39	テスト募集 2020/01/09				

○ トップ画面の修正

- ・ 「自園の情報をもっと発信できるようにしてほしい」旨の要望があったことから、掲示板として使用できるよう新たなバナーを追加した。

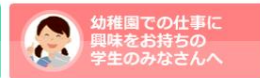
わーくけんようとは

「わーくけんよう」は、公益財団法人広島県私立幼稚園連盟が設置・運営する広島県私立幼稚園無料職業紹介所の愛称です。
当連盟は、平成29年6月に厚生労働大臣の許可を得て、無料の職業紹介事業を開始しました。（許可番号 34-ム-300024）
幼稚園教諭に関する求人・求職に関しては、当サイトをご活用ください。

ご利用の流れ



チャプターごとに動画を見る



幼稚園で働きたい方

人材をお探しの幼稚園



園のイベント・ボランティア・園見学などの情報を掲載しています

(トップ画面)

広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所

わーくけんよう WORK KENYO

幼稚園・認定こども園投稿フォーム

自園の投稿一覧を表示する

園名

メッセージ

※350文字以内で入力してください。

URL

※URLの掲載が不要な場合は未入力で結構です。

[『幼稚園・認定こども園からのお知らせ』を表示する](#)

(投稿フォーム)



幼稚園・認定こども園からのお知らせ

松永幼稚園

福山市西部にある松永幼稚園です。幼稚園では日々の保育の様子をInstagramに載せています。お時間がありましたら覗いてみてください!(^^)! 園見学のご希望がありましたらお気軽にご連絡ください!

<https://www.instagram.com/matsunagayouchien2019/?hl=ja>

わーくけんよう

「幼稚園・認定こども園からのお知らせ」のページでは、園のイベント・ボランティア・園見学などの情報を掲載していきます。是非チェックしてみてくださいね。

https://www.work-kenyo.jp/news/index_release.php

(掲示板)

イ 「わーくけんよう」 広報活動

- ・ 「わーくけんよう」の広報活動として、チラシを印刷し、園での退職者に退職金支給時に配布するとともに、各種イベント、セミナーで配布した。
- ・ 新卒採用向けの求人情報ページのチラシを作成し、学生への周知を図るため、養成校へ配布した。
- ・ 各種機関へのパンフレットの配布により、有資格者（第二新卒者や再就職者）へのPR活動を行った。

ウ 新卒者向け「就活ハンドブック」の印刷

これまで作成してきている幼稚園への就職活動への参考としてもらえる「就活ガイドブック」を増刷し、近隣養成校の学生へ配布した。



(2) 就職アドバイザーによる就職の支援

ア 目的

平成30年度から継続して実施している無料職業紹介所「わーくけんよう」に配置した就職アドバイザーによる求人・求職者に対する支援を充実し、県内の私立幼稚園・認定こども園の人材確保を支援する。

イ 事業内容

再就職を希望する者や幼稚園教諭の免許取得（予定）者で新たに就職を希望する者に対して、就職アドバイザーが求人・求職者双方から希望を聞き取り、それぞれの希望に応じた支援を行った。

(ア) 主たるアドバイザー

NPO法人キャリアプロジェクト広島 所属講師 松永 佳世子氏
(K mind 代表)

資格：2級キャリアコンサルティング技能士（国家資格）、JCDA認定CDA

(イ) 活動日及び活動開始日

切れ目のない支援が必要なことから4月より事業開始

（文部科学省との委託契約締結までは当連盟が経費負担）

相談業務は、概ね月2回 13時～17時、その他 随時

(ウ) 実施業務

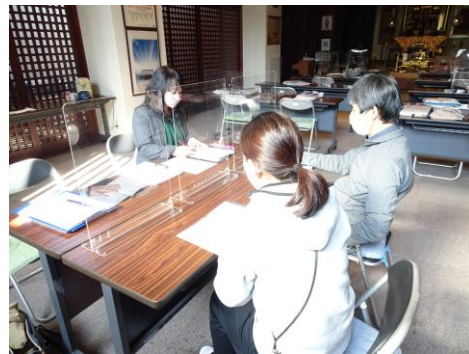
- ・ 求人・求職システムへの登録者等が満足のいく成果（求職者の希望園への就職、園が求める人材の確保）を得られるよう支援を行った。
- ・ 求人活動が円滑に行え、採用につながるよう園への支援を行った。
（電話による支援、オンラインによる支援、園を訪問しての支援）

【具体的な取組】

- ・ 求人・求職の登録状況をチェックし、新規の求職登録者には、電話・メールにより登録の目的、現状を把握し、今後の対応を検討した。
- ・ 求人登録園には、求人票の記載方法など細かな助言を行い、マッチングの成立を促した。
- ・ 一斉メール等により、登録者へ求人情報等を発信した。
- ・ 新卒採用求人情報の掲載は、学生の登録増につながっており、登録時の電話連絡で学生への情報提供、就職支援も積極的に実施した。
- ・ 養成校において「わーくけんよう」の周知及び利用促進を図った。



(オンラインでの相談)



(園訪問による支援)

3 事業実施による成果

(1) 登録・マッチング状況

- 求人登録は、3月末時点で登録期間終了とし、4月には改めて登録してもらう方法に改善しているため、今年度も年度当初の求人登録は少なかったが、徐々に件数は増加し、これまでで最高の登録となった。
- YNナビ実施時に、参加者に配布していた出展園の就労条件一覧を、今年度は、「わーくけんよう」のHPに記載されている「新卒採用求人情報」をもとに作成した。
よって、園の写真や所在地、PR等を盛り込んで記載することができた。
- 登録状況は次のとおり

(ア) 登録状況

(単位：件)

月	マッチング	求人登録	求職者登録	紹介
4月	0	13	442	5
5月	0	18	454	1
6月	0	37	472	3
7月	0	42	486	9
8月	0	51	500	6
9月	0	53	521	12
10月	0	55	533	7
11月	0	49	554	10
12月	0	51	558	6
1月	0	52	564	9
計	0	—	—	68

(イ) 登録者の状況（令和3年1月末日現在）

① 性別

男性	31
女性	533
合計	564

② 年齢区分

10歳代	22
20歳代	269
30歳代	131
40歳代	83
50歳代以上	59
合計	564

イ 就職アドバイザーによる支援

- 平成30年度から4年にわたり実施してきた、無料職業紹介所「わーくけんよう」に配置した就職アドバイザーの相談業務は、きめ細かな対応により、求人側、求職側に有効に機能している。

年度当初計画していた事業がすべてはできなかったが、就職アドバイザーが講師を務める大学での講義等は、「わーくけんよう」の認知を高める良い機会となった。また、その場での登録もスマホを通して操作できるなどのメリットもあり、登録者の増につながった。

- 就職アドバイザーが、月2回常駐する日について、わーくけんようサイト等を活用して周知を図った。

(ア) 相談状況及び状況確認調査（就職アドバイザー、当連盟職員）

- 電話やメールでの相談に対応するとともに、新規の登録者に対して登録した意図を確認し、マッチングに繋げるため、新規登録者には随時電話による状況確認調査を行った。
- 相談方法は、電話、メール、オンラインの3つの方法により実施した。
オンライン相談は、相手の顔や表情が見えることにより、何を質問したいかが就職アドバイザーがいち早くキャッチでき、的確な助言ができるメリットがあった。

(件)

区 分 件 数	求人に関する相談	求職者からの相談	
			内学生数
4 月	0	2 4	1 1
5 月	1	1 7	8
6 月	3	1 4	1 1
7 月	2	2 4	5
8 月	2	3 1	1 1
9 月	1	2 4	5
1 0 月	2	1 9	1 0
1 1 月	2	2 6	1 4
1 2 月	3	2 5	6
1 月	2	2 9	1
累 計	1 8	2 3 3	8 2

(イ) 電話相談内容

【求職者からの主な相談内容】

- ・ 免許更新の受講はどのようにしたらよいか教えてほしい。
- ・ 勤務時間についてどの程度融通が利くのか知りたい。
- ・ ブランクがあるため、現場に出て通用するか心配である。
- ・ 車通勤が可能か、交通の利便性はどうか知りたい。
- ・ 求人票に対しての個別質問（時給、勤務時間）等

【求人者からの主な相談内容】

- ・ システムの入力方法がわからない。教えてほしい。
- ・ 教諭が辞めるため急いで人を探している。
- ・ 求人票を作成したので内容を添削してほしい。等

(ウ) 面談による相談内容

【求人者からの主な相談内容】

- ・ 教諭の働きやすい環境づくりに向けて、どのように工夫したらいいか。
- ・ 養成校へ出す求人票の書き方について教えてほしい。
- ・ 求人が出た場合、養成校へは出向いてもいいのか知りたい。（養成校との関わり方）
- ・ 新採用教員を迎えるにあたって、園で気を付けることは何か。
- ・ コロナ禍での学生の就活状況が知りたい。

(エ) 園訪問による求人側への支援

- 電話では対応しきれない面もあるということと、幼稚園の状況を把握したうえでの助言が重要ではないかとの就職アドバイザーからの提案により、来園を希望する求人者に対しては、訪問による支援を行った。
 - 9月：1園（広島市：1園）
 - 10月：2園（安芸郡：2園）
 - 11月：1園（呉市：1園）
 - 計 4園（広島市1園、安芸郡2園、呉市1園）
- 園訪問による助言のメリットとしては、まず園の雰囲気や特色、環境、先生方の様子などを観察したうえでのアドバイスが行える点がある。
- 園を離れて相談に向くことができない現場の教諭や事務担当者などと、複数人で相談できる。また、求人票に改善点があれば、その場ですぐにシステム入力の実演ができるため、システムの活用頻度の増加につながる。
- 電話の場合は、応対する相手にしか伝えることができないが、対面であれば、園長だけでなく他の職員（副園長、主任、事務等）にも伝えられ、園内で助言や課題を共有することができる。
- 就職アドバイザー側も、園の対応者の表情や反応等を見ながら助言できるため、園が求めている情報を的確に伝えやすい。
- サイトの修正に関しても、同じ画面を見ながらの助言は、園側にも的確に伝わる。
- 園では日常的な活動が実際は園の特色や強みであること、日頃マイナスに捉えていることをどのように解決して効果的に伝えていくかなど、求人情報に加える際のアドバイスができた。

(オ) 求人・求職システムの改善

- 平成29年度に構築した求人・求職マッチングシステムについて、これまでより使いやすくなるよう、新たな機能の追加などの改善を図ったところであるが、令和3年度においても更なる改善を加え、登録者の利便性向上を図った。
- 特に、求人側からの要望により、求人情報を登録しなくても閲覧できるシステムや、園が自由にPR等を書き込めるよう「掲示板」的機能を追加し、利用者の利便性向上に努めた。

(カ) 広報

【紙媒体を活用した広報】

- ① Good Communication・・・
(広島県私立幼稚園加盟園保護者3万世帯) 6月配布
- ② 県幼通信・・・(広島県私立幼稚園連盟加盟園200園) 年4回配布
- ③ チラシ配布
 - ・ 広島県私立幼稚園退職者(200部)

4 課題と今後の取組

- 求人・求職システムは、県内において定着しつつあり、引き続き、改善を加えながら広報し、定着を図っていくこととする。
- 就職アドバイザーの高いスキルによって、求人、求職両者に対して、きめ細やかな支援ができた。
- 求職者に積極的にアプローチし、マッチングを増加させることが大きな課題と考える。
- セミナー等ではきめ細やかな対応、高いスキルが評判となり、徐々に周知が図られてきた。
- 就職アドバイザーからの提案もあり、改善された部分も多くあり、就職アドバイザーの支援は、求職者、求人者にとってもその存在は大きいと考える。

IV 令和3年度新採用教員研修会参加者への人材確保に向けたアンケートの実施

平成29年度に文部科学省の委託事業で実施した「人材確保に向けた調査研究」では、幼稚園教諭及び養成校の学生に対して「人材確保に向けたアンケート調査」を実施し、分析を行った。

その後毎年度、教諭対象の調査（29年度調査）から抜粋した項目を、新採用教員研修会の参加者に対してアンケート調査を行い、比較検討することにより、今後の業務の参考としている。

（3年度調査）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止によりYNナビが中止となったため、調査項目は「就職先を決定する際の判断要素」と「今後の幼稚園教諭の継続意向」の2項目とした。

詳細は別紙のとおり

1 調査項目

- (1) 就職先を決定する際の判断要素
- (2) 今後の幼稚園教諭の継続意向

2 調査結果

- (1) 就職先を決定する際の判断要素

- 就職する幼稚園等を決める際の判断要素としては、「(34) 園の雰囲気が良いこと」や「(35) 職場の人間関係が良いこと」など、園の人間関係に関する項目で「重要である」（「とても重要である」＋「まあまあ重要である」）が非常に高くなっている。これらの項目は、どの年度の調査でもほぼ同様の結果となっている。
- 令和3年度調査では、(34)、(35)に加え、「(22) 園の教育・保育方針が自分のイメージに近いこと」、「(36) 主任や先輩などの指導力が高いこと」、「(21) 職場の清潔感」の5項目が50%を越す高い割合となった。
- 一方、「(11) 土日がやすみであること」、「(15) 手当が充実していること」、「(14) 給料の額」等労働環境面の割合がこれまでの調査と比較して低い割合となった。

- (2) 今後の幼稚園教諭の継続意向

- 今回の調査では、「継続して働きたい」と考えている者が48.8%で、令和2年度調査（36.4%）と比較すると12.4ポイント高くなっており、調査開始から最も高い割合となった。
- 一方、「結婚したら辞めたい」と回答した者は3.1%で令和2年度調査（11.1%）より、8.0ポイント低く、「子どもができたなら辞めたい」と回答した者も9.3%で令和2年度調査（15.2%）より、5.9ポイント低くなった。

3 結果から

- 働き続けたいと考える者が非常に多くなっており、これらの者が真に働き続けることができるような環境づくりを進めていくことが求められる結果となった。

「令和3年度幼稚園の人材確保支援事業」調査研究実行委員会

【委員会の開催状況】

- 令和3年 5月12日（水）第1回調査・研究実行委員会
主な議題 1 調査・研究実行委員会の設置について
2 今年度の実施事業について

- 令和3年 11月25日（木）第2回調査・研究実行委員会
主な議題 1 事業の進捗状況について
2 来年度事業について

- 令和4年 3月 3日（木）第3回調査・研究実行委員会
主な議題 1 事業の実施報告について
2 来年度の事業実施について

【幼稚園の人材確保支援事業 調査研究実行委員会委員】

菊永 将浩	弁護士法人菊永総合法律事務所代表弁護士
菊野 秀樹	比治山大学短期大学部教授
樋野本順子	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校保育社会福祉学科学科長
松永佳世子	K mind 代表 NPO法人キャリアプロジェクト広島所属講師
弓場 久司	広島県環境県民局学事課長
山本恵美子	広島県健康福祉局安心保育推進課長
桑原智津子	広島県教育委員会乳幼児教育支援センター長
住田 直之	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事長 (委員長)
山中 隆司	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清川 里佳	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
水原 紫乃	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清信 真	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
中丸 元良	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
山根多美子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局長

